

ORACLEロードマップを イノベーションする 3つのスマートパス

コンポーザブルERPと
リミニストリートのソリューションで
Oracleアプリケーションを最適化



Rimini Street

変化するERP戦略

業界のリーダーとして生き残り、成功している企業は、自社のビジネスとIT目標、優先事項や投資等を上手に調整しています。具体的な戦略と活動は次の通りです。

- **投資収益の最大化:**
コストを削減しながら、投資とリソースからより多くの価値を引き出す。
- **アジリティとスピードの改善:**
顧客と市場の方向性を予測し、競争に勝つために迅速に方向転換する。
- **卓越した顧客体験の提供:**
お客様の期待を超え、アドボカシーを推進する。
- **セキュリティ、プライバシー、コンプライアンスの維持:**
ビジネス、顧客、データを安全に守り、日々変わり続ける法律に準拠する。

コンポーザブルERP戦略の利点

コンポーザブルERPは「プラグ・アンド・プレイ・モデル」であり、企業は簡単に統合できるERP要素を選択することが可能になり、変化する市場環境に対応して、より優れたユーザーエクスペリエンスをより迅速に提供し、¹時代に左右されず、変革に対し迅速に対応できるようになります。

ERPをモダナイズする大きな利点とは「超大型タンカーを丸ごとアップグレードするような労力」を伴わずに、組織が必要とする機能を獲得できることです。¹これは、近年のテクノロジーとビジネスの変化のペースに合っています。

コンポーザブルERPには以下のような利点もあります。²

- ビジネスの変化に自信を持って対応できる
- 企業がERPに適用するのではなく、ERPを企業側に適応させることができる
- 柔軟性のないシステムによるビジネスリスクを軽減する

また、コンポーザブルERP戦略は、ベンダー主導型のロードマップに従うのではなく、すべてのIT活動が企業の優先事項に合わせて調整されるビジネス主導型のロードマップに従う上でも最適です。



ビジネス主導型のロードマップとは？

ビジネス主導型ロードマップとは、ベンダー主導型のロードマップや目標に合わせるのではなく、貴社のビジネス目標や優先順位、リソースやタイミングに合わせてテクノロジー投資を行う長期的な計画です。

[詳しくはこちら](#)

¹ TechTarget. "Experts predict flexibility as a top ERP trend in 2022." 2022年1月10日、Jim O'Donnell

² Unit4. "Flexibility and industry specificity are top ERP trends for 2022." 2022年3月3日

Oracleロードマップのイノベーションを推進する3つのスマートパス

現行のソフトウェアリリースを継続使用し、エッジでイノベーションを起こす:

ビジネス主導型のITロードマップを基盤に、最新かつ最適なテクノロジーを使用するコンポーザブルERP戦略でイノベーションと変化を促進。現在のソフトウェアリリースを継続使用しながら、リミニストリーのサポートとマネージドサービスに移行することができます。

ソフトウェアの最新リリースに対するOracleサポートの補完:

一部のアプリケーションをクラウドに移行しながら、コンポーザブルERP戦略を活用。リミニストリーのサポートとマネージドサービスにより、Oracleのサポートを強化・補完することができます。

最適なテクノロジーへの移行: リミニストリーのサポートとマネージドサービスにより、あらゆる最適なイノベーションとコンポーザブルERP戦略を活用しましょう。ライセンスを所有するOracleソフトウェアをSaaSテクノロジーに置き換えることを選択した場合、永久ライセンスの放棄が必要となる可能性があることにご注意ください。

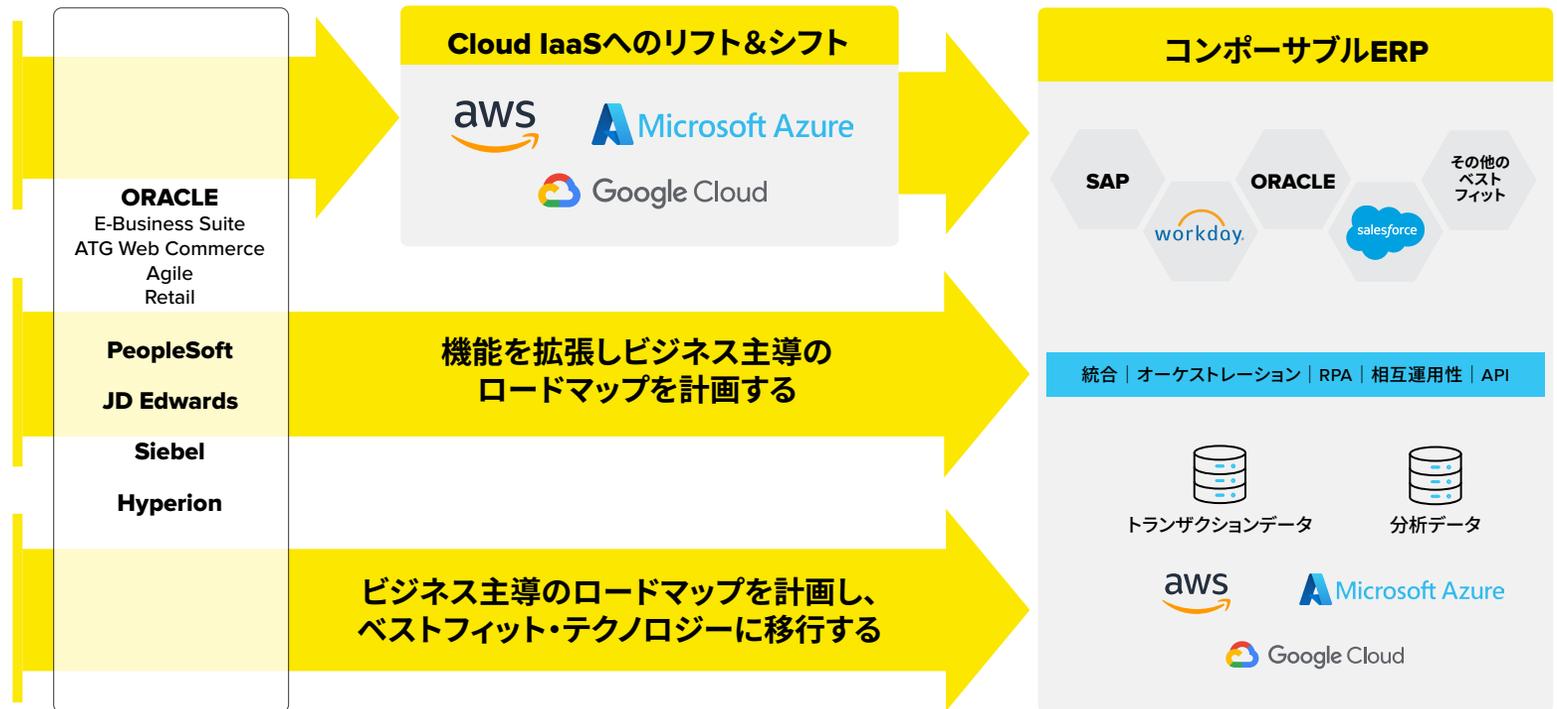


図1

ORACLEパスをスマートパスにする

スマートパスとは、継続的な価値を提供する全体的なロードマップです。ビジネスの中断などのネガティブインパクトやリスクを最小限に抑えながら既存のシステムのROIを最大化するのに役立ちます。

リミニストリートは、貴社がポストパンデミック・リーダーシップへのどの道をも歩もうとしているかにかかわらず、それをスマートなパスに変え、IT戦略を実現し、最適なビジネス成果を達成するお手伝いをします。当社は独立したパートナーとして、ベンダーロックインを回避しながら、安定性と確実性の付加価値を提供いたします。

当社は、以下のようなコンポーザブルERP戦略をサポート（推奨）します。

- 急速に進化するビジネスとマーケットニーズに対応
- ベストフィットするERPソリューションを採用
- ベンダーとの交渉に役立つレバレッジ作りをサポート

リミニストリートは貴社のどんなスマートパスの選択もサポートします

スマートパス:

1 現行のソフトウェアリリースを 継続使用し、エッジで イノベーションを起こす

E-Business Suite、PeopleSoft、JD Edwards、Siebel、Hyperionなど、カスタマイズされた高機能なOracleアプリケーションが貴社のビジネスニーズを満たしており、アップグレードやOracleのロードマップに従うビジネスケースがない場合、クラウドアプローチに沿ったコンポーザブルERP戦略は、既存のOracle投資を最大限に活用しながらイノベーションと成長をもたらすスマートパスとなる可能性があります。

また、ベンダーサポートからリミニストREETのサポートおよびマネージドサービスに切り替えることで、サポート費用を削減でき、Oracle ERPの周辺のイノベーションを賄うことができます。

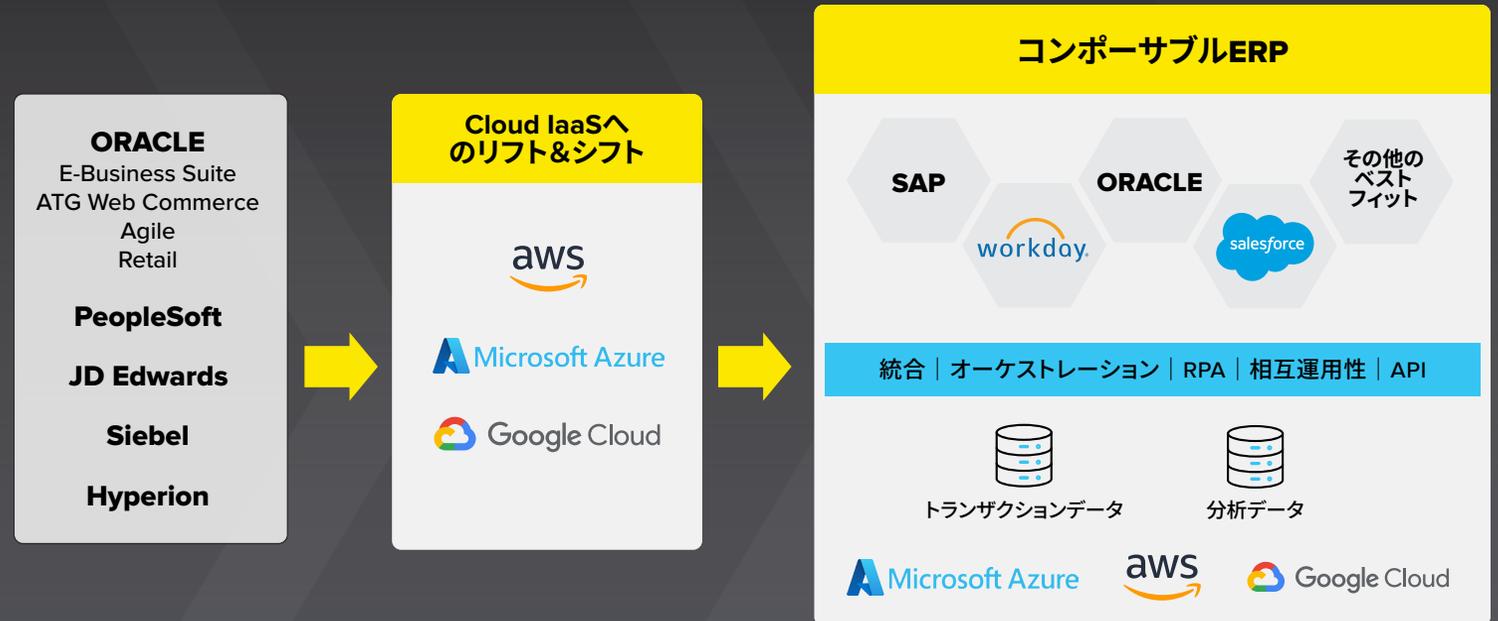


図2

図2では、OracleアプリケーションをクラウドIaaSに「リフト&シフト」し、最適なテクノロジーでコンポーザブルERP戦略を実現するまでの経過を示しています。

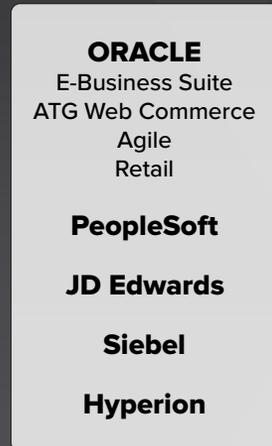
リミニストリートは貴社のどんなスマートパスの選択もサポートします

スマートパス:

2 最新のソフトウェア リリースに対する Oracleサポートの補完

最新のOracleリリースとOracleサポートを利用しながら、一部のアプリケーションをクラウドに移行する場合、コンポーザブルERP戦略を追求することが、ROIを計算し、移行を計画しながら、トランスフォーメーションと成長を実現するスマート・パスになる可能性があります。

また、オラクルのサポートをリミニストリートのサポートやマネージド・サービスで強化すれば、クラウドへのスムーズな移行、的確なランディング、そして導入当初からSaaSの成功を促進することができます。



ビジネス主導のロードマップを計画し
最適なテクノロジーに移行する

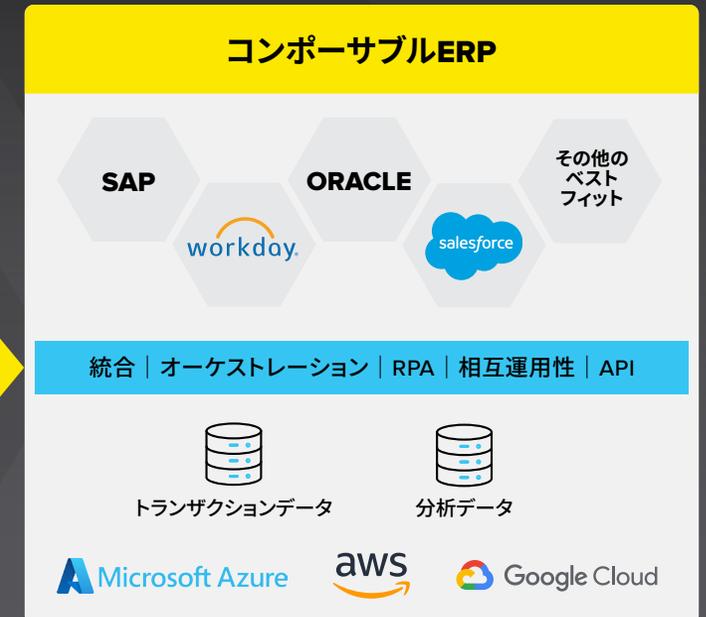


図3

図3は、最新のOracleリリースからコンポーザブルERP戦略への移行と、コアOracle ERPに最適なテクノロジーへの移行を選択する様子を示しています。

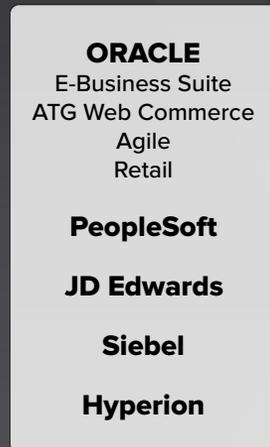
リミニストリートは貴社のどんなスマートパスの選択もサポートします

スマートパス:

3 ベストフィット テクノロジーへの移行

企業に最適なテクノロジーへの完全移行を計画しており、移行に十分な時間を確保したい場合、コンポーザブルERPとビジネス主導型ロードマップは、移行に伴うイノベーションを促進するのに役立ちます。このアプローチには、次のような利点があります。

- ベンダーのサポートからリミニストリートのサポートとマネージドサービスに移行することで、サポートの削減額を利用して自己資金でトランスフォーメーションを実現できます。
- Oracle ERPとOracleエコシステムを実行、管理、保護できる専門のサポートパートナーがいれば、Oracleのロードマップではなく、自社のロードマップに沿ってイノベーションを起こすことができます。
- 中断を最小限に抑えたスムーズで低コストの移行を経時的に準備するための柔軟性を得ることができます。



機能を拡張し、ビジネス主導の
ロードマップを計画する



図4

図4では、移行最適化のタイムラインを含め、最適なテクノロジーを使用した完全にコンポーザブルなERPへの過程を示しています。

リミニストリートのソリューションでERP最新化のための最善の道のりを選択

表1では、Oracleアプリケーションスマートパスへのリミニストリートのサポートの詳細を示しています。

現在の状態	スマートパス戦略	ERP近代化への道	リミニストリートのソリューション
Oracleアップグレードを要するビジネスケースが存在しない	<p>「現行のソフトウェアリリースを継続使用し、エッジでイノベーションを起こす」</p> <ul style="list-style-type: none"> リミニストリートを単一パートナーに選ぶことでより包括的なソフトウェアサポートとマネージドサービスを獲得 サポート費用の削減額を自己資金でのイノベーションに活用 	<ul style="list-style-type: none"> コンポーザブルERP戦略の追求 クラウドIaaSへの移行 最適なテクノロジーを使用してOracle ERPのエッジをイノベーション 	<ul style="list-style-type: none"> Oracleソフトウェアのサポート Oracle製品向けアプリケーションマネージメントサービス Rimini Protect™ 世界中の税・法規制に関するアップデート
一部のアプリケーションをクラウドに移行する一方、Oracleの最新リリースを維持するビジネスケースが存在する	<p>「最新のソフトウェアリリースに対するOracleサポートの補完」</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のOracleソフトウェアの機能を拡張 ビジネスケースが存在するクラウドにアプリケーションを移行 リミニストリートのサポートとマネージドサービスでOracleサポートを補完・強化 	<ul style="list-style-type: none"> コンポーザブルERP戦略でビジネス主導型のロードマップを追求 OracleのコアERPに最適なテクノロジーを追加 	<ul style="list-style-type: none"> Oracleソフトウェアのサポート Oracle製品向けアプリケーションマネージメントサービス Rimini Protect™
ベストフィット・テクノロジーに移行するビジネスケースが存在する	<p>「ベストフィット・テクノロジーへの移行」</p> <ul style="list-style-type: none"> Oracleソフトウェアのより包括的なサポートを獲得 リミニストリートのマネージドサービスでSaaSソリューションのサポートを強化 	<ul style="list-style-type: none"> コンポーザブルERP戦略とすべての最適なテクノロジーを使用してビジネス主導のロードマップを追求 	<ul style="list-style-type: none"> Oracleソフトウェアのサポート Oracle製品向けアプリケーションマネージメントサービス Rimini Protect™ 世界中の税・法規制に関するアップデート

リミニストリートがOracle製品をお使いのお客様を成功に導きます

以下では、Oracleのお客様がリミニストリートのOracleアプリケーション向けのサポートを活用し成功のためのスマートパスを歩んだ事例を2つご紹介します。



所在地:
オーストラリア

収益:
7億5700万豪ドル
(5億1400万米ドル)

業種:
公益企業

従業員数:
530人

アプリケーションとテクノロジー:

- Oracle E-Business Suite 12.2.4
- Oracle Database 12c
- Oracle Fusion Middleware
- OBIEE

ケーススタディ

スマートパス: エッジ (ERP) 環境のイノベーション

Greater Western Water (GWW) は、ビクトリア州政府が所有する組織で、メルボルンの中央ビジネス地区と西部地域の顧客に飲料水、下水道、産業廃棄物、再生水サービスを提供しています。

今後30年間で、メルボルンの人口は2倍になると予想されています。高品質で手頃な価格の安全な水道サービスのニーズを満たすために、City West WaterとWestern Waterは2021年に合併しました。以下の事例は、合併前の水道事業者City West Waterの経験を詳述したものです。

GWWのITチームは、業務合理化にエンタープライズソフトウェアプラットフォームに依存しており、財務や人事から顧客との契約更新まで、さまざまなプロセスにOracleのプラットフォームを活用しています。このため、同チームでは、アップグレード、メンテナンス、サポートなど、プラットフォームに関連するすべてを監視する必要がありました。

人員配置と予算の効率化を達成し、新しいIT施策に集中する機会を作り出し、イノベーションを促進するために、GWWはソフトウェアのメンテナンスとサポートのオプションを検討しました。

GWWの最高情報責任者であるJennifer Rebeiro氏は、次のように述べています。「ビジネスに導入するIT機能を最大化し、プロセスレベルで組織全体で機能する方法を見つける必要がありました。」

“「プラットフォームのメンテナンスとサポートを管理する新たな方法を見つけたことにより、スタッフと組織に真の機会が生まれました。つまり、通常通りのビジネスに組み込み、次年度以降も毎年価値を還元できるような新しいプロジェクトに貢献するためのリソースが利用できるようになったのです。」

— Jennifer Rebeiro氏、Greater Western Water、CIO

GWWは、ソフトウェアのメンテナンスとOracleフットプリントのサポートをリミニストリートに依頼しました。リミニストリートとの提携により、GWWはスタッフが新しいIT施策に専念できる時間を増やし、組織としてイノベーションの範囲を広げ、複数年にわたるプロジェクトを実施できるようになりました。

チームが保守およびサポート活動から解放されると、スキルセットを拡大し、より価値の高いタスクに取り組むことができるようになります。これに加え、ソフトウェアのメンテナンス費も大幅に削減することに成功しました。

オーストラリアの 有名大学



所在地:
オーストラリア

収益:
10億豪ドル
(6億7900万米ドル)

業種:
教育

従業員数:
15,000人

アプリケーションとテクノロジー:

- Oracle E-Business Suite 11.1.2.3
および12.1.3
- Oracle Database 12.2
- WebLogicおよびSOAスイートを含む
Oracle Fusion Middleware

ケーススタディ

スマートパス: ベストフィット・テクノロジーへの移行

あるオーストラリアの有名大学では、教育方法を急速に拡大する必要性、そして新たな収入源の確保や、多様で分散した学生数といった課題に直面していました。

ERPにOracleを使用している同大学のITフットプリントは大幅に増加しており、また、Oracleの全体的なサポート費用と年間保守費用も同様に増加していました。Oracle ERPのアップグレードは、数年間行われておらず、これは、高コストと中断のリスクに加え、新しいバージョンから事業価値が生まれないことが原因でした。

同大学は、2019年にOracleフットプリントの保守とサポートをリミニストリートに切り替えました。リミニストリートと提携により、ITロードマップを管理しながら、Oracleソフトウェアへの投資の価値を維持することに成功しました。

同大学がOracle EBSのサポートをリミニストリートに切り替えるとすぐに、サポートコストが削減され、Oracleクラウドソリューションへの潜在的な移行を含めた将来の施策のための資金作りに向け、予算を積み増すことができました。

「このアプローチによって、Oracleとの対話のあり方が変わり、今ではOracleではなく、私たちが上げん打を推進するようになりました。」と同大学のソリューション設計・提供担当アソシエイトディレクターは述べています。

同アソシエイトディレクターは大幅なコスト削減が実現したと語っていますが、それ以上の価値を生み出したこと

“ 私たちのアプリケーション、ミドルウェア、およびデータベースの大部分はOracleベースです。私たちは、長期的な戦略により沿った形でOracleとの関係を発展させることを目指しています。

「リミニストリートへの移行により、Oracleとの関係が再調整され、Oracleのインフラへの依存を再構築し、ベスト・オブ・ブリードのSaaSソリューションの導入に重点を置いた戦略に戻ることができました。その結果、Oracleのインフラストラクチャ依存の再考につながりました。」

— オーストラリア有名大学、ソリューションデザイン・デリバリー部門、アソシエイトディレクター

が証明されています。リミニストリートのOracle向けグローバルサポートチームにはスタッフが常駐し、24時間365日無休の体制で、重要かつ最優先な問題については10分のSLAで対応しており、実際の応答時間は平均5分未満です。

「Oracleから受けているサポートの価値が、年間支出に見合っていないことにすぐに気がきました。リミニストリートのおかげで、はるかに低コストでより良いサポートを受けることができました。」と同アソシエイトディレクターは述べています。

リミニストリートで ORACLE製品のメリットを最大限に活用

リミニストリートは、貴社のOracleパスがどのような道筋かに関係なく、以下のような実績あるオーダーメイドのソリューションで、スマートパスにするお手伝いをいたします。

- Rimini Complete™ for Oracle: Oracleへの投資を最大化し、総サポートコストを50%~90%削減し、自己資金確保によるイノベーション実現を支援するOracle向けサポート
- Rimini Enhanced™ for Oracle: L4製品のサポートおよびアプリケーションマネージメントサービス
- Rimini Managed™ for SaaS Applications: Salesforce®などのテクノロジーに最適なマネージドサービス

グローバル顧客満足度平均5点満点中4.9を誇る独立系パートナーとして、高価なアップグレードや移行を延期し、ベンダーロックインを回避し、短期的で影響の大きいプロジェクトを充当し、最適なERPのモダナイゼーションとビジネス成果を達成するためのお手伝いをいたします。

Rimini Street®

日本リミニストリート株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー23F-6

電話 03 5326 3461 Fax 03 5326 3001

contactjp@riministreet.com | www.riministreet.com/jp |

リミニストリートについて

リミニストリート (Nasdaq: RMNI) は、エンタープライズソフトウェア製品とサービスのグローバルプロバイダーであり、OracleおよびSAPのソフトウェア製品に対する第三者保守サポートにおいて業界をリードしており、またSalesforce®のパートナー企業でもあります。*リミニストリートは、エンタープライズソフトウェアライセンスにおいて、大幅にコストを削減し、イノベーションのために資源を自由にし、より良好な業績結果を達成することが可能となる、プレミアムで、非常に応答性が高い、統合型アプリケーションマネジメントおよびサポートサービスを提供しています。業界を問わず、フォーチュン500のグローバル企業、中堅企業、公共セクター組織等を含む顧客が、信頼できるエンタープライズソフトウェア製品とサービスのプロバイダーとしてリミニストリートにサポートを委託しています。

©2022 Rimini Street, Inc. All rights reserved. Rimini Streetは、米国およびその他の国におけるRimini Street, Inc.の登録商標です。Rimini Street、Rimini Streetロゴ、およびその組み合わせ、その他TMの付いたマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産権を構成するものであり、別段の記載がない限り、Rimini Streetは、これらの商標保有者またはここに記載されているその他の企業との提携や協力関係にあるものでも、またそれらを支持しているものでもありません。この文書はRimini Street, Inc. (「リミニストリート」)により作成されたもので、Oracle Corporation、SAP SE、または他のいかなる団体によっても後援、承認、または関係付けられたものではありません。別途、書面による明示的な記載がない限り、リミニストリートは記載されている情報について、いかなる責任も負わず、また、商品性または特定目的への適合性の黙示的保証を含むがこれに限定されないすべての明示的、黙示的、または制定法上の保証を行いません。いかなる場合でもリミニストリートは、この情報の使用または使用が不可能な事態によって生じる直接的、間接的、結果的、懲罰的、特別的、または付随的損害のいずれに関する責任を負いません。リミニストリートは、第三者により提供された情報の正確性または完全性について一切の表明または保証を行わず、当該情報、サービス、または製品について随時変更する権利を有します。LR0008975 LT-US-100522